

事業所名

GREEN HOUSE

支援プログラム

作成日

R6 年

9 月

1 日

法人（事業所）理念	<p>I 利用者と家族ににとってなくてはならない存在であり、知育・体育・療養・看護のプロフェッショナルとして関わる ①障がい児の成長発達に貢献すること ②障がい児の夢に寄り添うこと ③家族のレスパイトケアに関心をはらうこと ④穏やかな家族関係を重視し、情緒的プレッシャーの開放に努めること ⑤コンプライアンスを遵守すること</p> <p>II 職員幸福度において日本一の職場を目指す。職員が誇りをもって働ける場所を創出し、職員と家族の自己実現を応援する。 ①ワーク・ライフ・バランスを整える ②意見や考えを自由に話せる ③創造性を発揮する ④各々が未来像をもつ ⑤良い行動習慣を身につける ⑥自己研鑽をおこなう</p>							
	礼儀・挨拶・感謝の気持ち・笑顔・ユーモア・会話・親孝行・環境整備・報告・連絡・相談・読書・学習 これらを大事にして支援と連携に取組ます。							
支援方針	9 時 00 分から 17 時 00 分まで 送迎実施の有無 あり							
	支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・検温やバイタルチェックなど健康状態の観察、医療的ケア等の支援 ・お子様に合わせて食事、排泄、衣類着脱などの日常生活における自立のための支援 ・機能訓練担当職員によるリハビリテーションを通じて、日常生活や社会生活における身体的、精神的、社会的な支援 ・歯科衛生士含めた多職種の連携による口腔ケア、咀嚼・嚥下、姿勢保持など安全な食事に向けた支援 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリや活動を通じて、日常生活動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持向上に向けた支援 ・自力での身体移動や歩行、歩行器や車椅子による移動など、日常生活に必要な移動能力の向上のための支援 ・ミュージックケアや遊びの中で、触覚・聴覚・視覚に加えて前庭感覚や固有感覚などお子様に合わせた感覚活用のための支援 ・公園や遊戯施設などへの外出支援で、様々な遊具や器具に触れ合いながら運動機能等の向上に向けた支援 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや創作活動を通じて、時間や空間の把握、大小や数、記憶力の向上に繋がる支援 ・お子様に合わせた環境整備を行い、文字や数の計算などの学習支援 ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援 ・感情の認識とコントロール、時間の管理などを身に付けて調整能力向上のための支援 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉や文字等を理解、活用し相手の意図を理解したり、自分の思いを伝えたりするなど、言語の受容・表出のための支援 ・言語コミュニケーションだけでなく、表情やジェスチャー等の非言語的コミュニケーションの活用に向けた支援 ・意思表示の困難なお子様については、不快・苦痛等の小さなサインを読み取れるように心身の状態を細かく観察し、筋緊張を緩和する環境づくりや姿勢管理等の支援 ・お子様に合わせて、手話、点字、音声、文字、触覚、平易な表現等による多様なコミュニケーション手段を活用するための支援 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢、性別、障害種別に関わらず多くの人と関わりを持ち、意思表示や相手の気持ちを理解するための支援 ・職員との信頼関係を構築し、環境や人に対する信頼感、安心感を育む支援 ・模倣やごっこ遊び等を通じて社会性の発達や対人関係におけるスキル向上のための支援 ・集団活動や遊びに参加できるようにルールを理解し、互いの存在を認め合いながら仲間づくりに繋がる支援 						
家族支援		移行支援	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関する困りごとに対する相談援助 ・移乗や食事、姿勢保持などの介助方法についての助言・提案 ・レスパイトや就労等による預かりニーズに対応するための延長支援 ・保護者会の開催など保護者同士の交流の機会の提供 				
地域支援・地域連携				<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な研修を行い、知識だけでなく実践スキルの向上を図る ・看護師、保育士、機能訓練士、歯科衛生士など幅広い職種間で支援に対するミーティングや研修、演習を実施し、専門性の向上を図る ・ストレスチェックを行い職場環境の改善を行う等、職員のストレスを軽減し、より良い環境で支援の実施と学びを促す。 				
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事（正月・節分・ひな祭り・夏祭り・クリスマス等）・音楽発表会 						